令和７年度 福井東特別支援学校スクールプラン

福井県教育委員会

「一人ひとりの個性が輝く、ふくいの未来を担う人づくり」

（福井県教育振興基本計画の基本理念）

＜校訓＞　**希望　克己　協調**

＜教育目標＞

○児童生徒の心身の状態や発達段階、特性に応じて、一人一人の能力や可能性を伸ばす。
○自尊感情と自ら学び考える力を養い、自立し社会参加するための基盤となる「生きる力」を培う。
○地域社会とのつながりを大切にし、他者と協調する力を育む。

＜令和７年度教育方針＞

○「社会に開かれた教育課程」を基本に地域とのつながりのなかでほんものの体験と成長を実感できる教育活動の充実を目指す。
○一人一人の特性に合った、かつ将来を見据えた自立へのアプローチと主体的・対話的で深い学びの授業を行いながら、自己理解や自己有能感、他者理解を育む。
○保護者や関係機関等の連携を密にしながら、児童生徒と共に今ある課題解決や進路決定に向けた手立てを講じていく。
○防災・災害時の対応を核とした対策についての見直しや改善を図る。
○復学支援や交流活動、センター的機能の充実を通して、病弱教育やインクルーシブ教育の理解啓発を行う。

業務改善のための取組

・ＩＣＴ活用･ＤＸ推進を行いながら事務的業務の効率化を図る。

人権教育の推進

・地域社会とのつながりの中で、生命の大切さや自己有用感、他者を思いやる心を育む。

重点目標

教育課程・学習支援　研究・研修

地域社会の中で自分らしく生きていくために、「自立活動における指導」の充実を通して、一人一人の能力や可能性を引き出す授業づくり・授業改善を推進する。

家庭・地域との連携　進路支援　生徒支援

保護者や地域との連携を図りながら、自己有用感を育て、将来にわたって豊かに生活するために、社会や人とつながる活動を促進する。

安心・安全

安心で安全な環境を整備する。

重複部・病肢部・図書研究部

具体的取組：

個に応じた実態把握を元に「自立活動における指導」の目標や内容を複数の教員の視点を取り入れて考えるとともに、全体研究会や障がい別研究会を通して、個に応じた授業づくりや授業改善に継続して取り組む。

評価の観点：

全体研究会（年3回）や障がい別研究会（月1回）などを通して「自立活動における指導」の充実を図り、多様な児童生徒一人一人の能力や可能性を引き出し、児童生徒が主体的に学ぶ授業づくりを行う。

分教室

具体的取組：

保護者や医療機関等との連携を密にし、教育的ニーズを共有して、個に応じた授業づくりに取り組む。

評価の観点：

入院中の児童生徒について情報共有を図りながら、授業や支援の工夫について話し合い（週1回以上）を行う。

教務部

具体的取組：

学校間や居住地校、地域との交流及び共同学習に取り組む。

評価の観点：

学校間・居住地・前籍校との交流及び共同学習のほか、校外学習や作品展・販売会、職場体験等の活動を通して、校外の人と関わったり、児童生徒への理解を促したりする機会を持つ。

教育支援部

具体的取組：

センター的機能を通して、病弱教育の理解啓発を図るとともに、インクルーシブ教育について多職種間で考える機会を設ける。

評価の観点：

医療・福祉・SCなどの外部専門家との連携や、他校との交流や相談の機会を通して、病弱教育やインクルーシブ教育の理解啓発を行う。

進路指導部 庶務部

具体的取組：

関係校務部と連携し、保護者学習会やＰＴＡ行事を充実するとともに、広報誌やHPを通して情報を積極的に発信する。

評価の観点：

保護者が気軽に参加して学ぶ機会や、関係機関や保護者同士がつながり情報共有する機会を定期的に設ける。

指導部

具体的取組：

学校祭や交流祭、委員会活動を通して、人とつながるための活動を行う。

評価の観点：

学校祭や交流祭、委員会活動を通して、児童生徒が身近な人と関わる活動を充実する。

保健部

具体的取組：

児童生徒の健康管理や安全に対する意識を高め、より安全な生活を送るための環境を整える。

評価の観点：

児童生徒の体調把握や健康管理を呼びかけ、緊急時や災害時の対応訓練を実施することで、児童生徒が安心して学校生活を送るための体制を整える。